

4つの緊急対策事業

「餃子配送料補助」
「人気オンラインショップへの参加」など4事業



宇都宮商工会議所は現在、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業を行っています。緊急対策事業は前期にも複数の事業を立案・実施し、いずれも効果を上げました。後期事業でも4事業を立ち上げています。その内容をご紹介します。また、市内各商店街等における新型コロナウイルス感染症対策に即した取り組みも併せてご紹介します。

当所では「新型コロナウイルス感染症緊急対策事業」を実施しています。前半では「宇都宮餃子の通信販売およびデリバリー支援事業」「タクシー初乗運賃および買い物代行支援事業」等を実施し、即効性のある経済対策が狙いでした。

それに対し10月から順次スタートした後期事業は「景気回復」「消費喚起」「観光集客」に重点を置いています。具体的な事業は、次の4事業です。

- ◎ 宇都宮餃子配送料補助
- ◎ ホテルや旅館の各種会場利用促進支援
- ◎ サーマルカメラ（体温測定）貸し出し
- ◎ 「おもてなしギフトショップ」への参加

これらの事業内容について、ご紹介します。

また、中止となった恒例行事「宮の市（商業祭）」に代わる中心商店街の取り組みも併せてご紹介します。

協同組合宇都宮餃子会と協力して、11月1日から宇都宮餃子配送料補助を実施し、11月11日に予定数に達し終了しました。

栃木県外への
宇都宮餃子配送料補助
「宇都宮餃子」で
感謝と恩返しだ！

完売



来らっせ 店頭に飾ったポスター

ツトをはじめとしたさまざまな支援策が講じられていますが、ホテル・旅館の会場利用については、支援の手が行き届いていないのが現状です。そこで当所では、宇都宮ホテル旅館協同組合加盟のホテルや旅館などに対して、企業などが会議やセミナー、研修会などで利用する場合、会場利用料の割引額の一部を補助します。本事業により、企業の会場利用を積極的に促進するとともに、ホテル・旅館などの持続的な経営を支援します。

【事業内容】

- 宇都宮ホテル旅館協同組合の組合員が企業などに会議やセミナー、研修会などで会場を貸し出す際に、正規利用料金の50%引きまたは30%引きで提供できるよう、値引き分を補助します。
- 【補助内容】
- 当所会員事業所が利用する場合
正規料金の50%を補助
- 当所非会員事業所が利用する場合
正規料金の30%を補助

現在、実施に向けて検討を行っていますので、詳細が決まり次第改めてお知らせします。

サーマルカメラ（体温測定）貸し出し
イベント開催を支援

準備中

人が多く集まる「イベント」は、街の魅力づくりに欠かせません。しかしコロナ禍により、イベントが中止に追い込まれています。

中心市街地では10月以降にフリーマーケットやジャズイベントなどが開催され、少しずつ客足が戻ってきているようです。しかし三密回避に代表される新しい生活様式に即したイベント開催が必要になっています。

一方、当所が実施した「新しい生活様式への対応に伴う商店街実態調査」では、イベントの開催に慎重な姿勢がうかがえる結果が出ています。（12P参照）

会場に人を集めるイベントでは、来場者の検温が課題の一つでした。現在は係員が非接触型体温計で検温する場合、うまく計るためにはコツも必要で、人手も時間もかかります。

そこで当所では、イベントや研修会など人が集まる行事の際にスムーズに検温作業を行っていただくため、サーマルカメラを導入、貸し出しに向けて準備を進めています。

サーマルカメラは赤外線カメラとモニターをつないで検温するシステムです。カメラの前に人が立つと、瞬時にその人の体温を計測してモニターに表示しますので、これま

待できます。また、宇都宮市の魅力や民間調査会社の結果で最下位だった栃木県の魅力を伝えることにもつながると考えます。

これらの目的で実施したこの事業は、おかげさまで初日から560件以上のご注文をいただき、その後も毎日100〜200件のご注文を受け、開始から11日間ですべての注文が完了となりました。

「宇都宮餃子」は、ご承知のとおり宇都宮市を代表するブランドの一つであり、商店街来街者実態調査では、来街目的の上位にあがるほど、高い人気を誇っています。本事業はこのような背景から実施しており、観光業への波及効果が期待されます。

特に今回の事業は、県外に送る場合に限定して配送料を補助するため、宇都宮市や栃木県の魅力を広く伝える大きな効果が見込めます。

当所担当者はこの事業に込めた想いについて、「今年は、市外や県外の宇都宮餃子ファンへ情報発信の機会を作ることができない状況でした。この事業はコロナ禍でも応援してくださる宇都宮餃子のファンへ、恩返しをの機会を作りたいという思いがありました」と話します。

また、協同組合宇都宮餃子会の鈴木章弘理事兼事務局長は「宇都宮餃子を活用し、栃木県、そして宇都宮市の魅力を発信することで、他の観光資源への波及効果に繋がれば」と、事業の効果について話しています。

この事業が、宇都宮市や栃木県のイメー

検定試験会場入口で受験者の検温に活用



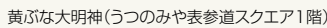
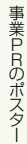
での非接触型体温計よりはるかにスムーズに検温することができます。また一定以上の体温が計測されるとアラームが鳴り、同時にデータが保存されます。

すでに当所入口前に設置して試験運用を始めているほか、11月に行われた簿記検定試験会場で使用しました。

現在、貸し出しに向けて検討を行っていますので、詳細が決まり次第改めてお知らせします。

問合せ
地域振興部
☎028-637-3131

問合せ
総務部
☎028-637-3131



✕

✕

✕

問合せ
宮の市(商業祭)
実行委員会
(地域振興部内)
☎028-637-3131

ら宮カフエは社のみ)

応募期間は12月1日(火)から翌年1月31日(日)までです。

31日(日)までです。
インスタ映える黄ぶなフォトを、どん
どん撮影してインスタグラムに投稿してく
ださい。

疫病退散のパワースポット
「黄ぶな大明神」

シンコイン乗車デーをきっかけに、より多くの方にご利用いただき、中心市街地に足を運んでもらいたいと思います。

鳥居の高さは2.3メートル、社も1.4メートルと目を引く大きさです。また鳥居の外には、のほりや黄ぶなの由来を書いた看板なども立っています。

4 「#黄ぶな
フォトコンテスト」

当実行委員会でインスタグラムにアカウン

ぶな大明神のパワーを授かってください。

またお参りした人を対象に、抽選でプレゼントを実施しています。大明神に設置したQRコードをスマホなどで読み込み、必要

グッズ(1100円相当)を進呈します。

関連商品詰め合わせセット(5500円相

51日(日)までです。

**商店街の盛り上がりを支援する
4事業をご紹介します!**

What is Kibuna?

「黄ぶな」の由来

ある時、宇都宮に天然痘が大流行したことがあった。むかしのことなので、良い薬もなく人々は、なりゆきにまかせる以外に方法がなかった。ところが、ある人が田川にすむ黄色のフナを食べたところ不思議にも天然痘がなおってしまっただけでなく、黄ぶなを食べた人は病気にかからなかったという。しかし、黄ぶなはそう簡単に釣れるものではなかった。そこで張子の黄ぶなを作って今年も疫病にかからぬようにと年の初め、軒下につるし、後に神棚に供えて無病息災を願う習慣が生じて今日にいたっている。

宇都宮市教育委員会
『宇都宮の民話』(昭和58年)より
(一部表記を改めました)



そこで宮の市(商業祭)実行委員会では、「宮の市」に代わる事業として、12月1日(火)から4つの取り組みの実施を決定しました。

黄ぶなどで疫病退散・商売繁盛と名づけられたこれらの事業を、ポスターやメディアの報道などでご覧になった方もいるのではな

宇都宮市商店街連盟の加盟商店街の店舗と賛助会員の大型店、うつのみや市商工会管内の事業所が、共通POPを使ってセールを実施しています。POPは黄ぶなをあしらった、親しみやすいデザインです。協賛セールは各店が「黄ぶな」にあやかりオリジナルセールを実施するものです。

実施期間は12月1日(火)から翌年1月31日(日)の2カ月間です。

いつも足を運んでいるなじみの商店街で、

1 「黄ぶな」協賛セール

黄ぶな共通POPで
アイデアあふれる協賛セール

いでしょうか。

6

